

第14回
令和6年度定時総会資料

令和6年5月17日



一般社団法人
ビルディング・オートメーション協会

第14回 令和6年度定時総会

日時 令和6年5月17日（金）午後2時30分
場所 東京ガーデンテラス紀尾井町
紀尾井カンファレンス

総会次第

総会設立宣言

議事

第1号議案 令和5年度事業報告の承認の件

第2-1号議案 令和5年度収支決算の承認の件

第2-2号議案 令和5年度監査報告の承認の件

第3号議案 令和6年度事業計画案の承認の件

第4号議案 令和6年度予算案の承認の件

第5号議案 役員改選承認の件

第1号議案

令和5年度事業報告

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

令和5年度は、新型コロナパンデミックが沈静化に向かう年となりました。日本においても新型コロナパンデミックを契機にしたリモートワークが定着し、ビジネス変革を支える技術として、AIやIoTなどのテクノロジーの活用が進みました。また、持続可能性への取り組みの強化、労働力不足の課題が顕在化しています。これらの社会全体の変化や課題に対処するための取り組みが、社会全体に求められています。

建築業界全体を見ると、人手不足がさらに深刻化し、ゼネコン・サブコン・計装会社を問わず労務問題に追われる状況が続いています。

ビルディング・オートメーション業界に関連するトピックとして、令和5年4月に改正省エネ法が施行されました。今後大規模事業者の省エネ、非化石エネルギーへの転換がさらに進むはずであり、ビルディング・オートメーションに対する社会からの期待は大きくなっています。

当協会は、上記の期待や課題解決のための活動を継続して実施していきます。

令和5年度の活動実施に当たっては、新型コロナパンデミック以前の活動を全て実施することに加え、好評だった研鑽会セミナーのオンライン配信を目標として掲げ、予定通り実施しました。個別の活動詳細につきましては後ほど紹介しますが、概要を述べます。

調査研究部会は、公共建築工事標準仕様書令和7年版、建築設備設計基準・計画委基準令和6年度版など、標準図書の改訂に関する活動を実施し、また様々な公的機関からの問い合わせ対応を行いました。

広報出版部会と教育施設部会では、コロナパンデミック後初のリアル開催セミナー「BACS/BEMS のIoT 対応を支える周辺最新技術」を実施しました。後日録画配信も行い、総計90名を超える参加者がありました。また、例年通り電気設備学会と共催で、BACnet 講習会への協会員参加を実施しています。ホームページを通じて会員皆様に、これらの情報の共有や発信を継続していることは、すでにご存じのことと思います。

コンプライアンス部会は、昨年度から継続し重層下請け改善課題についての取り組みを行い、国交省、サブコン各社、日空衛などとの打合せ実施後、協会としての成果物「見

積添付資料：弊社見積の計装工事請負体制について」を完成させ、理事会会社にて運用を開始しました。また一昨年度発足した計量品質PJ（課金事故防止が目的）を、昨年度はコンプライアンス部会活動として位置づけ実施しました。

このようにビルディング・オートメーション協会は、調査研究部会（国土交通省を主体とする定常の所轄団体活動、複数の機関への計装・BA 業界としての対応）、広報出版部会（通達文・ホームページの運営など情報周知）、教育視察部会（講習会、研鑽会、視察研究会など教育）、コンプライアンス部会（労務環境課題やコンプライアンスの推進）という4つの部会活動により業界の皆様のため貢献すると共に、発生する課題への取り組みや会員相互の技術力の向上、知識共有に取り組んで参ります。

計装、ビルディング・オートメーション業界の窓口として活動を進めている中、現在、会員企業数が減少し33社となりましたが、今後も全国で会員を募り、広くご意見を聞く機会を拡げていき、協会の運営を図っていく所存です。

当協会は社会に貢献すると共に、ビルディング・オートメーション業界の地位向上と会員の皆様の更なる発展を目指してまいります。どうぞ引続きご協力・ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和年5年度 定時総会・理事会の開催履歴

定時総会 5月17日開催

第1回定時理事会 5月17日開催

第2回定時理事会 7月20日開催

第3回定時理事会 9月21日開催

第4回定時理事会 11月16日開催

第5回定時理事会 1月25日開催

第6回定時理事会 3月21日開催

※各理事会の議事録は、ホームページに掲載されています。ご参照下さい。

一般活動報告

1. 中央官庁等対応

下記中央官庁他団体からの照会に対応した。

- ・国土交通省 大臣官房官庁営繕部
- ・経済産業省
- ・(一社) 公共建築協会

2. 部会活動

1. 調査研究部会

<中央官庁等対応>

- ・国土交通省 大臣官房官庁営繕部 設備・環境課
「建築設備計画基準 令和3年度版」
「建築設備設計基準 令和3年度版」
「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年度版」
「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年度版」
「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年度版」
「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年度版」
「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年度版」
「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年度版」
上記改定作業（意見照会・データ提供等）。
- ・(一社) 公共建築協会
「設備機材等評価名簿（自動制御）」
上記意見照会（評価基準、評価要件に対する問い合わせ）
- ・経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課
「産業サイバーセキュリティ研究会（WG1-SWGビル分野）」に参加（継続）
SWG活動成果：
「ビルシステムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン 第2版」を経産省Webサイトにて公開（2023年4月20日）。

2. 広報出版部会

- ・ホームページコンテンツの維持、更新を行った。
更新内容は、官庁通達、総会、理事会議事内容、視察報告、等。
また、体制、会員情報変更等を修正、更新した。

- ・ホームページの会員ページのパスワードについては、会員更新時に合わせて変更を実施した。
- ・理事向けデータ格納サーバーをホームページ内に設置。
- ・令和5年度版パンフレットを製作しデータをホームページ掲載した。
- ・セミナー実施にあたり、配信用動画を編集し専用サーバーに掲載した。

3. 教育視察部会

<教育視察活動一覧>

- ・ 2023/05/17 令和5年度定時総会講演
テーマ「ストレスに負けない脳のマネジメント」
- ・ 2023/06/01 第1回研鑽会実施
テーマ「BACnetシステムの基本」
※電気設備学会主催BACnet講習会に3名参加
- ・ 2023/11/10, 11 第1回視察研究会実施
「キリンディスティラリー(株)富士御殿場蒸溜所」見学
- ・ 2023/12/19 第2回研鑽会実施
テーマ「BACnetのアプリケーション展開」
※電気設備学会主催BACnet講習会に4名参加
- ・ 2024/03/13 第3回研鑽会セミナー実施（リアル開催）
テーマ「BACS/BEMS のIoT 対応を支える周辺最新技術」
※会員企業57名参加（広報出版部会共催）
- ・ 2024/03/18, 19 第3回研鑽会セミナー配信実施（録画配信）
※会員企業61名視聴（広報出版部会共催）

4. コンプライアンス部会

<コンプライアンス、労務環境対応>

- ・官公庁等からの通達事項を確認し、ビルディング・オートメーション業界での関連事項を理事会に答申。
- ・社会保険加入の徹底に加えて、建設キャリアアップシステムの普及推進や適切な賃金水準の確保など、同プログラムにおける「給与・社会保険」の分野に関する取組を議題とする「建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会」に出席。
- ・重層下請構造の改善に向けた取組として、部会活動の派生協議の場として拡大会議を設置し、ビルディング・オートメーション業界での問題点のとりまとめを行い、国土交通省や関係諸団体等との意見交換を実施、その対応策の検討を行った。

- ・BA システムの計量品質向上を目的に、計量品質トラブルを減らす活動として当部会を中心に拡大会議を設置し協会内で協議した。また、BA 業界の利害関係者との情報交換を行い、今後、協会として提言していくことを視野に活動を行った。

3. 官庁からの通達文書配布リスト

2023年度（令和4年～令和5年度）

発信者	件数
国土交通省不動産・建設経済局	30
国土交通省	3
経済産業省	2
厚生労働省	2
その他	2
なし	10

計 49件

第2-1号議案

令和5年度収支報告 (単位:円)

	単 価	金 額
前年度繰越金		1,348,346

【1. 経常収入の部】

(令和5年度予算)

会費収入			
年会費(33社)	60,000	3,100,000	3,180,000
雑収入		508,050	320,000
利息		20	10
経常収入合計		<u>3,608,070</u>	<u>3,500,010</u>

【2. 経常支出の部】

通信費		0	3,000
旅費交通費		118,100	150,000
交際費		236,168	200,000
広告宣伝費		13,055	60,000
消耗工具器具備品費		4,530	5,000
事務用品費		5,938	5,000
諸手数料		13,853	15,000
会議費		698,200	580,000
総会懇親会費		320,000	320,000
業務委託費		779,092	700,000
図書講習会費		84,000	60,000
教育訓練費		1,611,237	1,400,000
予備費		0	2,010
経常支出合計		<u>3,884,173</u>	<u>3,500,010</u>

経常支出差額		▲384,163	0
--------	--	----------	---

法人税等(印紙税、消費税)		70,000	120,000
---------------	--	--------	---------

次期繰越金		1,002,243	
-------	--	-----------	--

第2-2号議案

監査報告書

一般社団法人ビルディング・オートメーション協会 殿

本協会定款27条に基づき、本協会の業務および会計を監査する為、関係帳票を精査の結果、業務執行状況および計算書類ともに適正であり、妥当であることを認めます。

2024年4月16日

一般社団法人ビルディング・オートメーション協会

監事

菅沼 孝至



第3号議案

令和6年度事業計画（案）

ビルディング・オートメーション業界の発展を目指すとともに、国土交通省等の窓口団体として以下の事業を行なう。

中央官庁他外部団体対応（主査：調査研究部会）

- ・国土交通省およびその関連団体に対し、業界の窓口としてBAに関する諸委員会への参画、ならびにBA業界への依頼要請への対応を行なう。
また、BA業界における課題解決の取り纏めを行ない、必要あれば諸答申を行なう。
- ・国土交通省をはじめ、経済産業省、厚生労働省、環境省等からの、BA業界への指導・通達・要請に対し、業界の窓口として対応する。
- ・他業界団体等からの要請等に対し、業界の窓口として対応する。
- ・業界のDX・GX推進やスマートビルの具現化を見据え、「ビルのサイバーセキュリティ対策」等について経済産業省をはじめとした関係団体等と連携し、非住宅施設全般における調査・研究を行ない、BAにおける制御システムセキュリティ強化と促進のための活動を継続して行なう。

教育活動（主査：教育視察部会）

- ・BA事業の市場拡大や技術向上を目的とした、協会会員の技術研鑽、知識向上のための教育を多面的に捉え、最新技術に関する講演会ならびに現場視察研究会、課題解決を図るための勉強会等、協会会員参加による研鑽会をオンライン開催も活用し、企画・実施する。
- ・必要があれば、広報出版部会やコンプライアンス部会などの関連部会と連携して協会会員の参加による外部研修会への参加を企画し、会員の技術研鑽への啓蒙を図る。

広報活動（主査：広報出版部会）

- ・ホームページを充実させ、協会の認知拡大、イメージ向上を行う。
- ・ホームページに本会の活動報告や出版物を掲載し、会員へ情報提供を行う。
- ・関連団体開催の諸会へ協賛等による、広報活動を行う。
- ・本会の活動成果・関連資料などの出版を行い、会員及び業界全般へのサービス提供を行う。
- ・本会パンフレットの発行を、毎年定時総会終了後に行う。
- ・雑誌などへ寄稿や協会広告掲載を検討、実施する。
- ・教育視察部会と連携して、セミナーを企画し、実施運営を支援する。
- ・ホームページやパンフレット、PPTフォーマットなど協会のイメージを社会変化に合わせるよう検討する。

コンプライアンスの推進（主査：コンプライアンス部会）

- ・国土交通省をはじめ、経済産業省、公正取引委員会等からの「関連する法令や指針及びガイドラインの遵守」等の指導・通達・要請について、会員企業への周知徹底を図る。
また、ビルディング・オートメーション業界における課題解決の取り纏めを他の部会との連携にて行なう。
- ・建設現場における建設系ASP(Application Service Provider／建設キャリアアップシステムやグリーンサイトなど)および、重層下請構造の改善に向けた取組について、運用状況を継続して監視する。また、状況に応じて国土交通省や関連団体に対し陳情や意見交換等を行う。
- ・BAシステムの計量品質向上を目的とした指針をまとめ、協会の提言として外部へ情報発信する。

業界の窓口対応（理事長活動他）

- ・ビルディング・オートメーション市場の今後のビジネス発展、市場開拓に寄与する業務。
- ・会員企業の地位向上に資する活動や協会の知名度を高める活動。
- ・1つの企業では解決できない業界的な共通課題への対処。

協会運営の強化

- ・国内のビルディング・オートメーション市場で事業活動を行っている企業を幅広く把握し、入会等会員の増強を図る。
- ・会員企業との意見交換を実施し、市場の動向と協会への意見・要望を把握し、協会活動の充実を図る。

第4号議案

令和6年度予算案（単位：円）

前年度繰越金	1,002,243	
【経常収入の部】		
年会費収入 33社	3,120,000	(昨年度実績からの見込み)
雑収入(総会会費等)	400,000	
利息	10	
経常収入見込み	<u>3,520,010</u>	
【経常支出の部】		
通信費	3,000	
旅費交通費	120,000	
交際費	50,000	
広告宣伝費	20,000	
消耗工具器具備品費	5,000	
事務用品費	5,000	
諸手数料	15,000	
会議費	650,000	
総会懇親会	400,000	
業務委託費	700,000	
図書講習会費	80,000	
教育訓練費	1,400,000	
予備費	2,010	
経常支出見込み	<u>3,520,010</u>	
法人税等	70,000	
次期繰越金見込み	<u>1,002,243</u>	

第5号議案

会長・副会長承認の件

会長	(留任)	濱田 和康
副会長	(留任)	吉田 浩
副会長	(留任)	上林 博明

役員改選承認の件

代表理事	(留任)	渡邊 賢佳			
理事	(留任)	真壁 則義	増田 正範	朝妻 智裕	
		上原 和夫	岩城 保直	寺林 誠	
		内藤 博人	宇賀神 浩憲	三嶽 章一郎	
		伊藤 均			
理事	(重任)	木村 征吾			
理事	(新任)	木下 朋行	伊藤 満之		
監事	(留任)	菅沼 孝至			
退任理事		溜谷 和彦	福世 雅之		

報告事項

令和6年度会長・副会長(案)

会長	濱田 和康
副会長	吉田 浩
副会長	上林 博明

令和6年度役員(案)

理事長	渡邊 賢佳
-----	-------

令和6年度会長・副会長(案)

会長： 濱田 和康
アズビル(株) 執行役常務 ビルシステムカンパニー社長

副会長： 吉田 浩
ジョンソンコントロールズ(株) 代表取締役社長

副会長： 上林 博明
パナソニックEWエンジニアリング(株) 技術統括部 取締役統括部長

令和6年度役員(案)

理事長： 渡邊 賢佳
アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部 担当部長

理 事： 真壁 則義
(株)ニシテック ビルシステム事業部東京支店 理事 営業部長

理 事： 増田 正範
ジョンソンコントロールズ(株)
営業推進統括本部 営業開発部 担当部長

理 事： 朝妻 智裕
アズビル(株) ビルシステムカンパニー
BAエンジニアリング部システムエンジ2グループ 担当部長

理 事： 上原 和夫
パナソニックEWエンジニアリング(株)
東京本部 ビルシステム事業統括部 ビルシステム事業推進部 部長

理 事： 岩城 保直
ジョンソンコントロールズ(株)
ソリューション開発本部 プロダクトマネジメント部

理事：寺林 誠
アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部営業1部 専任部長

理事：内藤 博人
アズビル(株) ビルシステムカンパニー 事業管理部企画1グループ

理事：木村 征吾
(株)オーテック 環境システム事業部 技術統括部 部長

理事：宇賀神 浩憲
パナソニックEWエンジニアリング(株)
東京本部 ビルシステム事業統括部 システム技術第二部 部長

理事：三嶽 章一郎
アズビル(株) ビルシステムカンパニー 計装本部計装企画部 担当部長

理事・事務局長：伊藤 均
アズビル(株) ビルシステムカンパニー 営業本部営業3部 課長代理

理事：伊藤 満之
日本電技(株) 事業本部事業推進部 ビルシステム推進室長

理事：木下 朋行
東芝インフラシステムズ(株)
エネルギーソリューション技術第一部 参事

監事：菅沼 孝至
東テク(株) 執行役員 営業開発本部 副本部長

正会員（令和6年3月31日現在） 33社

特別会員

一般財団法人 建築保全センター
公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会

一般社団法人ビルディング・オートメーション協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-5 TWG銀座イースト 8階

TEL 03-3248-0889
